

平成 29 年度 京都市立洛陽工業高等学校 学校経営方針

【教育目標】

生徒が、現在のグローバル化した先行き不透明な厳しい時代において、生き生きと活動ができ、他者から信頼される人物へと成長できるように、さまざまな教育活動を展開し、生徒に基礎的、基本的な知識・技能を定着させるとともに、「社会から求められる力」を獲得させる。

また、最終年度の教育活動になることを踏まえ、生徒が伝統ある洛陽工業高校の一員であることに誇りと責任を持てるような取り組みを展開する。

【教育方針】

- 創造 工業教育を通して創造性に富む人を育てる
- 自立 自ら学び考え行動できる人を育てる
- 協調 相手の立場や気持ちを理解し尊重できる人を育てる

【学校経営方針】

①「豊かな人間性」の涵養

- ア. 美しい清らかな心と高い志を持ち、科学技術で社会の発展に貢献できる人材を育成する。
- イ. 相手を思いやる豊かな心を持ち、常に謙虚な姿勢を持ち続ける人材を育成する。
- ウ. 社会規範を遵守させるとともに、挨拶や清掃の励行、交通マナーの向上に努めさせるなど基本的な生活習慣を確立させ、社会性を培う。

②「主体的・対話的で深い学びにつながる学習意欲」の育成

- ア. 観点別評価を踏まえた PDCA サイクルを実践、教科指導方法の工夫、授業改善などを行い、生徒に学習に対する興味、関心をもたせ、知識・技能の定着をはかる。
- イ. 研究授業などでアクティブ・ラーニングなどの有用な指導方法の情報交換を積極的に行い実践する。またプロジェクト型学習スタイルを取り入れることにより、課題設定や解決する力を養い、生徒の自学自習力を育成する。
- ウ. 授業だけでなく、経営者や科学技術者の講演やディスカッション、産官学連携した教育活動を通して、学びの有用性を実感し生徒の学習意欲を高める。
- エ. 加速度的に変化するグローバル社会に柔軟に対応する科学技術者を育成するため、最新の施設設備を活用し、様々な分野の人材と協働して課題解決力・実践力を身に付ける。
- オ. 関連性の高い Science (科学) Technology (技術) Engineering (工学) Mathematics (数学) の領域を一体的に学ぶとともに、Art (芸術) を加え STEM+A 教育を推進する。

③「地域に愛される学校づくり」の推進

- ア. 地域と連携した体験活動やボランティア活動を有効に活用し、地域産業を担う人材を育成する。
- イ. 開かれた学校として教育活動等の最新情報を積極的に外部にホームページ等で発信する。
- ウ. 本校の教育活動について、教職員による自己評価や生徒・保護者による学校評価アンケートを実施する。そして、その結果を学校評議員や関係者に公開するとともに、目標の達成状況や取組状況等について検証を行い、継承する京都工学院高校の教育活動に役立てる。
- エ. 施設・設備の点検を定期的・日常的に実施するとともに、不審者の侵入や自然災害などに適切に対応できるよう危機管理体制を整備し、生徒の安全・安心な学校生活の保障と地域の信頼に応える学校づくりに努める。